

竹の子だより

第93号 平成25年7月28日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

事業 竹の子学園・竹の子ケアセンター・パン工房ハッピー・竹の子ホーム・相談支援センターエール

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



平成二十四年度事業報告

【平成二十五年度 第一回評議員会】及び【平成二十五年度 第一回理事会】が、平成二十五年五月二十八日、パン工房ハッピー『ハッピーキッチン』にて開催されました。
当日は評議員会・理事会開催前に、四月一日に新設したケアホーム『クルールⅠ・Ⅱ』を見学しました。

議案

議案第一号

ハッピーキッチン購入について

パン工房ハッピーで給食提供用の厨房・食堂として利用している建物（ハッピーキッチンの建物及び土地）について、家主様より売却の申し出がございました。

敷地面積 三三四・三七㎡
建物 一九八四年十月建築
購入予定価格 二一〇〇万円
（建物価格〇円）
購入資金については、借入はせず、全額自己資金にて購入する。

議案第二号

平成二十四年度事業報告について

- ①社会福祉法人 明星会
・理事会 五回開催
・監事会 二回開催
・評議員会 三回開催
- ②竹の子学園
・入所利用者の地域移行に向けての取り組み
・施設運営の概況について
・主な行事
- ③竹の子学園 短期入所
・定員4名 年間一〇三〇ケース
- ④竹の子学園 日中一時支援
・小田原市 年間一六九ケース
・南足柄市 年間 三二ケース
・真鶴町 年間 五四ケース
・大井町 年間 二ケース
- ⑤竹の子ケアセンター
・平成二十四年度の取り組み
・実施行事について
・利用実績について
生活介護 年間三八七九ケース
自立訓練 年間一四六五ケース

- ・作業活動について
- ⑥パン工房ハッピー
・平成二十四年五月よりパン工房ハッピー独自の厨房・食堂を設け、の提供をしました。
・防災管理者の設置
・利用実績について
年間五四〇〇ケース
- ⑦竹の子ホーム
・四名の方が一般就労されました。
・平成二十四年四月「メルシーボク」開設（共同型 男性五名）
・防災関係報告
・会議・行事報告
- ⑧相談支援センターエール
・年間相談件数 一二七件
・サービス利用計画作成 四一件
・スキルアップ&ネットワーク報告
・自立支援協議会・講師依頼
- ⑨ハッピー・ONE・STEP（公益事業）
・神奈川県委託のモデル事業として、足柄上郡、南足柄市の生活保護受給者家庭で主に高校進学を目指す中学生を対象に学習支援、居場所づくり、進路指導を実施しました。

- ・学習支援 二カ所 合計七十回
- ・居場所づくり 六回
- ・進路相談会（十月） 一回

議案第三号

平成二十四年度決算

について

（決算報告参照）

議案第四号

社会福祉法人明星会

資産変更について

（表参照）

議案第五号

社会福祉法人明星会監査報告について

真壁監事、真田監事により五月二十一日に監査を実施。平成二十四年度の事業執行状況、財産状況等の監査の結果、適正に運営されているとの報告がありました。

以上全ての議案について、審議・承認されました。

資産合計	8 2 2 , 7 4 2 , 2 6 8 円
負債合計	7 3 , 4 0 7 , 4 3 5 円
純資産合計	7 4 9 , 3 3 4 , 8 3 3 円



平成24年度 決算報告



*貸借対照表は各経理区分の合算です。

社会福祉法人明星会

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	1,117	経常収入	1,111
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	-6		
合計	1,111	合計	1,111

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	1,150	事業活動収入	1,110
事業活動外支出	0	事業活動外収入	0
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	-38		
合計	1,111	合計	1,111

竹の子学園

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	276,922	経常収入	307,773
施設整備等支出	2,777	施設整備等収入	1,840
財務支出	16,850	財務収入	12,051
当期資金収支差額	25,114		
合計	321,664	合計	321,664

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	287,825	事業活動収入	328,434
事業活動外支出	8,965	事業活動外収入	919
特別支出	251	特別収入	1,240
当期活動収支差額	33,550		
合計	330,593	合計	330,593

竹の子ケアセンター

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	43,727	経常収入	56,249
施設整備等支出	1,765	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	10,756		
合計	56,249	合計	56,249

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	44,863	事業活動収入	56,240
事業活動外支出	0	事業活動外収入	9
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	11,386		
合計	56,249	合計	56,249

パン工房「ハッピー」

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業支出	18,641	就労支援事業収入	16,357
福祉事業支出	45,390	福祉事業収入	53,548
施設整備等支出	12,869	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	-6,995		
合計	69,906	合計	69,906

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業活動支出	19,489	就労支援事業活動収入	16,357
福祉事業支出	47,683	福祉事業収入	45,973
事業活動外支出	0	事業活動外収入	8,001
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	3,159		
合計	70,331	合計	70,331

竹の子ホーム

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	97,233	経常収入	91,108
施設整備等支出	1,792	施設整備等収入	2,014
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	-5,902		
合計	93,122	合計	93,122

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	98,177	事業活動収入	91,156
事業活動外支出	0	事業活動外収入	4
特別支出	152	特別収入	2,014
当期活動収支差額	-5,154		
合計	93,175	合計	93,175

相談支援センター エール

(単位:千円)

資金収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	186	経常収入	272
施設整備等支出	186	施設整備等収入	186
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	85		
合計	458	合計	458

事業活動収支計算書

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	187	事業活動収入	274
事業活動外支出	0	事業活動外収入	0
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	86		
合計	274	合計	274

貸借対照表

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	228,403	流動負債	16,578
基本財産	444,362	固定負債	56,829
その他の固定資産	149,976	負債合計	73,407
		基本金	47,293
		特別積立金	223,313
		その他の積立金	62,000
		活動収支差額	416,728
		純資産合計	749,334
資産合計	822,742	負債・純資産合計	822,742

ハッピー・ONE・STEP (公益事業)

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	1,991	委託費収入	2,248
居場所づくり経費	78		
その他の経費	178		
合計	2,248	合計	2,248

人権について



国連では、一九七一年（昭和四六年）に「知的障害者の権利宣言」、一九七五年（昭和五十年）に「障害者の権利宣言」が決議され、「ノーマライゼーション」の理念の下、「完全参加と平等」を目標にしながら、障害者の福祉の増進の為、各国で様々な取り組みがなされてきました。施設協会でも、利用者の生活の質が問われるようになり、利用者主体の支援のあり方を検討するようになりました。しかし、中には指導訓練の名のもとに、職員の利用者に対する高圧的態度が問題視され体罰等も報告されることがあり、一九九四年（平成四年）より人権擁護が唱えられ、人権特別委員会を設置することになりました。一九九三年（平成五年）人権検討委員会が協会会長の諮問機関として設置され、同年十二月に「あおぞら九十四プラン」として報告されました。また、擁護の問題にも取り組み「精神薄弱者愛護協会」から「知的障害施設協会」になりました。「あおぞらプラン」推進の為、人権特別委員会を設置し、職員利用者の為の各種研修、利用者の交流や意見発表の場である「あおぞらパーティー」の開催、推進状況の調査、あおぞらマン

（オンブズマン活動）等の事業を展開してきました。しかし、残念ながらいくつかの人権侵害が報告されました。そこで、「あおぞらプラン」が関係者主体で作られたという経緯を反省し、しっかりと利用者の声を受け止め、利用者自身の声をそのまま反映させた「あおぞら宣言」（知的障害施設利用者権利宣言）が作られました。施設協会も正式に承認し、全国初の利用者の直接の声によってつくられた権利宣言になりました。こうして、「あおぞら宣言」を守っていく「あおぞらプランⅡ」が二〇〇〇年（平成十二年）に作られ、さらに障害者自立支援法施行にともない、「あおぞらプランⅡ二〇〇九ver.」が作られ、二〇一二年十月一日には、障害者虐待防止法が施行され、「あおぞらプランⅡ二〇一三ver.」が作られました。

神奈川県では、不祥事が相次いで発覚しています。神奈川県は、チェック機能がいっしょにしているから、不祥事を隠さないで明らかにし、反省をし、再発防止に努める体制ができていたとの声もありますが、同じことの繰り返しではだめなのです。権利侵害を起こせない環境作りを、これからも人権委員会として行っていきたいと思っています。権利侵害ゼロを目指して！（坂井）

明星会の人権への取り組み



明星会では「神奈川県知的障害施設協会の『あおぞらプラン』」を遵守し、法人の基本理念には『利用者の人権を守ります』と掲げています。

人権委員会では「人権マニユアル」を作成し、利用者に不利益が生じることのないように努めています。

法人職員全体の意識向上を図る為に、テーマを決めて「人権スローガン」を作っています。

内容は「あおぞらプラン」を参考に作成しています。これまで「くん・ちゃん・あだ名呼びはやめよう」「笑顔で挨拶しよう」「報・連・相をしよう」「利用者の財産を扱っているという意識を持ちましょう」など、さまざまなスローガンを作っています。各事業所の職員室や作業室等にスローガンのポスターを掲示し、朝の引継ぎや会議で読み合わせ、職員ひとりひとりが意識をしながら支援を行なえるように取り組んでいます。スローガンを掲示するだけでなく、意識をして取り組んでいるかどうか、毎月自己評価を行い、これ

からの支援に生かせるようにしています。明星会にお越しになった際は、ぜひ人権スローガンのポスターを探してみてください。

また、人権スローガンをまとめたものを「竹の子人権守ろう宣言」として掲げ、あおぞらプランと合わせて「竹の子人権守ろう宣言」を遵守しています。明星会の各事業所に掲示して、人権に対して意識を高められるようにしています。「竹の子人権守ろう宣言」は、明星会のホームページでも見ることができますので、どうぞご覧下さい。

その他、委員会メンバーで外部の研修へ参加し、障害者虐待について学んできたことを法人内へフィードバックできるよう、職員会議内でグループワークを行ない、職員全体での理解を深めています。

人権侵害が起こらないように、職員ひとりひとりが常に意識をして、利用者の皆様が安心して生活できるように努めていきます。（浦本）

職員全体研修



七月一日に「発達障がいの方への理解」と題してグリーンフォレスト

理事長・臨床心理士の篁（たかむら）一誠先生をお呼びして講義を行いました。

篁先生は主に自閉症児者の現場で足掛け四十年に渡り活躍されて来ました。その中で自分の感じられた事、学ばれた事をエピソードに載せてお話し下さいました。

『言葉かけの際に副詞・形容詞を用いる事でイメージが沸かずに逆に混乱させてしまう事がある』『一見こだわりに見える行動も、過去の安心した記憶を思い出して追体験している』といった座学では学びきれない話が印象的でした。

『不適切な支援は虐待に繋がる』という坂井施設長の閉会の言葉を胸に、私達は日々利用者の視点にたった支援を提供し続ける義務がある事を再認識しました。（石飛）

スキルアップ
& ネットワーク

今年は、「障がい者の就労」「自立援助ホーム」「障がい者支援を行なう当事者の方の人生観」「教育と福祉」について、各方面で活躍されている方に講義をして頂いています。

今年も多くの応募があり、県西地域の福祉従事者の皆さんの高い意識を感じています。多くの事業所、様々な業種の方に参加して頂くことで、名の通り職員のスキルアップとなり、ネットワークが広がることで、よりよい支援に繋がる事を願っています。懇親会では、福祉への熱い思いを語り合い、素晴らしい仲間たちと乾杯しています。（奥津）

研修のとりくみについて

明星会では、研修委員会を中心に外部で開催される様々な研修に参加しています。

また、自主勉強会を毎月開催し、いつも大勢の職員の参加があり自己啓発に意欲的です。勉強会の内容は様々で、研修で得た知識を職員同士で共有し、職員が講師として勉強会の場に立つことで、情報をもとめ、伝える力を身につける場としても活用しています。

今後も様々な研修、勉強会を企画していききたいと思います。（横山）

ハッピーキッチンについて



昨年オープンした『ハッピーキッチン』で、いよいよ利用者さんが作業をする準備が始まりました。

その第一歩として、調理補助作業の体験がスタート。給食という配膳や盛り付け、調理など作業はたくさんありますが・・・調理の基本

は洗いの物“ということ”で、日々取り組んでいます。家庭にはない、洗う器具によつてのスポンジの色分けや大きな食器洗浄機に悪戦苦闘しつつも、少しずつ一人ひとりの目標が見えてきました。

現在は給食スタッフ二名で給食を提供していますが、将来的には利用者さん主体で昼食の準備、更に外部の方へ

も昼食を提供していけるよう、利用者さんと職員、力を合わせて取り組んでいきたいと思います。（今野）



地域ボランティアについて

竹の子学園の農業班では月に二回、近隣の諏訪の原公園で清掃活動のボランティアをさせていただいています。公園内の落ち葉拾いや、花壇の剪定や草むしりなどを毎回楽しく行なわせてもらっています。これからも地域のつながりを大事にして清掃活動にも取り組んで行きたいと思っています。

いつもありがとうございます。



新職員紹介

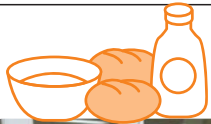
この度、竹の子学園の作業補助非常勤職員として神馬智恵美さん・諏訪部孝さん・大瀧陽子さん。

竹の子ケアセンターの非常勤職員として窪澤繁さん。

地域支援課の非常勤の世話人として中村幸枝さんが新しく加わりました。よろしくお願ひ致します。

退職者紹介

この度、五月で竹の子ケアセンター非常勤職員の青野珠栄さんが、六月で竹の子学園一、二寮支援員の田中英子さんが退職されました。お疲れ様でした。



イベント給食



どんぶり バイキング

カレー・カキ揚げ・親子丼・納豆…、沢山食べてお腹もいっぱい！



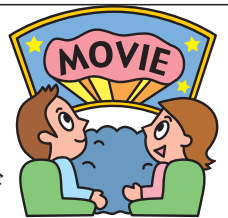
種類が沢山あって選ぶときに迷った。
梅シラス美味しかったです。



いっぱい食べた。
カレーが一番おいしい。



ケアセンター 一日レク

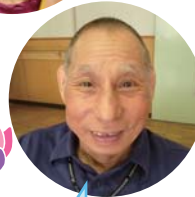


えいが

迫力があって良かった。



図書館戦争と言う映画を見に行きました。初めての1日レク、楽しく過ごす事ができました。これからも色々な所に行きたいです。



買物レクに参加しました。色々な物を沢山買って、楽しい一日でした。

かいもの

竹の子ケアセンターでは日中活動の他に、1日レクリエーションを行なっています。

ショッピングや映画鑑賞ピクニック等、アンケートを取って自分の行きたいレクリエーションを選び、1日外出を楽しめます！その他にも小規模なレクリエーションを取り入れています！（大橋）

思い出の1ページ



いつもと変わらず綺麗だった。城址公園のサルも元気だった。アイスが食べたかったなあ。



あじさい見学



皆で行ったから凄く楽しかった。
いろんな色のあじさいがあって綺麗だった。



お花も綺麗で、食べ物も美味しいものがいっぱい。
また来年も皆で行きたい！



第33回県西地区みんなのつどいが6月22日に小田原アリーナで開催されました。

おでかけリレー・綱引き・パン食い競争など大変楽しまれていました。昼休みにはダンスタイムで盛り上がり、終盤には家族・職員リレーもあり、様々な変装にたくさんの歓声があがっていました。また来年のつどいを楽しみにしています。



ダンスタイムが楽しかった！



いろんな競技に出れて楽しかった！
他の施設の友達に会えて嬉しかった。
新しい友達もできて良かったです。



綱引きとパン食い競争を頑張りました。

パン食い競争が少し難しかったけど、楽しかった！



ざいました。
うもありがとうござ
ができました。ど
者に提供すること
快適な環境を利用
た。おかげさまで
うことができまし
ムで防音工事を行
4か所のグループホーム・ケアホー
ション、第二沼田荘、プリンスマン
アセンターで送迎車を購入すること
が不足しており、入所の車を借りて
運営していましたが、おかげさまで
スムーズな送迎が行えるようになり
ました。また、竹の子ホームでは、
沼田荘、第二沼田荘、プリンスマン
ション、第二プリンスマンションの
4か所のグループホーム・ケアホー
ムで防音工事を行
うことができまし
た。おかげさまで
快適な環境を利用
者に提供すること
ができました。ど
うもありがとうご
ざいました。



共同募金



共同募金会様
には、明星会の
各事業所で隔年
助成を受けて
様々な事業を行
わせていただい
ています。今年
度は、竹の子ケ
アセンターで送迎車を購入すること
が不足しており、入所の車を借りて
運営していましたが、おかげさまで
スムーズな送迎が行えるようになり
ました。また、竹の子ホームでは、
沼田荘、第二沼田荘、プリンスマン
ション、第二プリンスマンションの
4か所のグループホーム・ケアホー
ムで防音工事を行
うことができまし
た。おかげさまで
快適な環境を利用
者に提供すること
ができました。ど
うもありがとうご
ざいました。

ボーリング招待

四月二十五日、今年も白梅ライオンズクラブさんのご招待でコロナキャットボールにてボーリング大会が開催され参加してきました。

毎年楽しみにしていて竹の子学園のボーリング名人は今年もハイスコアを叩きだしていました。たくさんのお菓子の土産も頂き楽しい時間を過ごすことが出来ました。



いつもお誘い頂きありがとうございます。
(横山)

ありがとう

善意の気持ち



NPO法人 金太郎プロジェクト
推進委員会の熊井宏尚様より新たなまねぎ(4kg)を頂きました。パン工房ハッピーで商品の材料として使わせて頂きました。
ありがとうございます。

第18回 竹の子祭のお知らせ

日時：平成25年11月23日（土） 午前10：00より

場所：竹の子学園にて開催（雨天決行）

毎年皆様のご協力・ご参加により竹の子祭も今年で18回目を迎えます。

皆様との楽しい交流の場となれますように様々な企画を考えています。

地域の皆様を始め、大勢の方のご来園を心よりお待ちしております。

❖法人紹介 ❖バザー ❖アトラクション ❖模擬店各種

❖外部出店 ❖七宝体験、販売 ❖パン販売（ハッピー） ❖手芸品販売

❖農作物販売 ❖陶芸体験、販売 ❖ゲームコーナー

❖歌手によるコンサートも予定しております。

お問い合わせ

竹の子祭実行委員会

TEL. 0465-32-7740

バザー品ご提供にご協力

お願い致します。

ボランティア募集

明星会では学園行事に参加して下さる方や、定期的にボランティアをして下さる方にボランティア登録をお願いしています。興味のある方はお気軽に担当までご連絡をお願い致します。

◆主なボランティア内容

行事（夏祭りやスポーツレク、竹の子祭等）
作業補助・入浴介助・クラブ活動等

お問い合わせはこちら

☎ 〇四六五（三三）七七四〇

✉ bora@takenokogakuen.jp

（担当：和田友美）

夏といえは

竹の子日和



絵：H・Misumi
作：A・Senuma

編集後記

暑い日が続いていますが、皆様体調を崩していないでしょうか？今夏も猛暑の予想になっています。猛暑になれていない八月上旬に熱中症が起きやすいようです。

これから夏本番となりますので、皆様お身体にはお気を付け下さい。節電の意識を忘れずに今年の夏も利用者の皆様と笑顔で楽しく過ごしていけたらと思っています。

（石井めぐみ）

